

## 入札公告

国立大学法人九州大学において、下記の委託業務について一般競争入札の手続を開始します。

令和2年4月6日

国立大学法人九州大学  
総長 久保千春

### 1 競争入札に付する事項

- (1) 業務委託に付される事項名  
九州大学（箱崎）敷地境界モニタリング井戸地下水分析調査業務
- (2) 完了期限  
令和3年3月26日（金）
- (3) 調査場所  
福岡県福岡市東区箱崎六丁目10番1号 九州大学構内
- (4) 入札方法  
落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10パーセントに相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

### 2 競争に参加する者に必要な資格

- (1) 国立大学法人九州大学契約事務取扱規程第5条及び第6条の規定に該当しない者であること。なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中「特別の理由がある場合」に該当する。
- (2) 会社更生法に基づき更生手続開始の申立てをした者又は民事再生法に基づき再生手続開始の申立てをした者にあつては、手続開始の決定を受けた後に審査を受けた一般競争参加者の資格を有する者であること。
- (3) 国の競争参加資格（全省庁統一資格）において、令和2年度（平成32年度）に九州・沖縄地域の「役務の提供等」のA、B、C又はD等級に格付けされている者であること。
- (4) 平成12年度（過去20年度）以降において、土壌汚染対策法に則した\*1地下水分析調査業務の実績を有すること。  
\*1 「土壌汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン（改訂第2版）に記載のある地下水採取方法・測定方法」
- (5) 次に掲げる基準を満たす技術者を配置すること。  
・主任技術者（「土壌汚染調査技術管理者」の資格を有する者）
- (6) 九州大学総長から取引停止又は指名停止の措置を受けている期間中の者でないこと。

### 3 入札手続等

- (1) 契約条項を示す場所  
〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744  
国立大学法人九州大学施設部施設企画課工事契約係  
電話番号092-802-2045・2046
- (2) 入札説明書及び仕様書等の交付期間、交付方法、申し込み方法
  - 1) 令和2年4月6日から令和2年4月17日までの土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後5時まで（ただし、最終日は正午まで。）、電子メールにより配布する。  
入札説明書及び仕様書等を希望する者は、下記の配布用電子メールアドレスに会社名、担当者名及び連絡先（会社住所、電話番号、FAX番号等）を明記し、申し込むこと。  
[kouji-1@jimukyushu-u.ac.jp](mailto:kouji-1@jimukyushu-u.ac.jp)
  - 2) 入札説明書及び仕様書等の交付に当たっては無料とする。
  - 3) 入札説明書及び仕様書等を申し込む際の電子メールの件名は、  
【入札説明書等申込】「九州大学（箱崎）敷地境界モニタリング井戸地下水分析調査業務」（会社名）とすること。
  - 4) 電子メールによる申し込み受信確認後、申込者にデータのダウンロード用URLを記したメールを返信する。

(3) 申請書及び資料の提出期間、提出場所及び提出方法

令和2年4月6日から令和2年4月17日まででの土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後5時まで（ただし、最終日は正午まで。）。上記3（1）に同じ。書面により持参又は郵送（書留又は配達証明に限る）すること。ただし、郵送の場合は提出期限までに必着のこと。なお、電送によるものは受け付けない。

(4) 入札及び開札の日時及び場所並びに入札書の提出方法

①日 時 令和2年5月12日（火）午前10時開札。  
ただし、9時45分までに集合のこと。

②場 所 国立大学法人九州大学パブリック2号館3階入札室

③提出方法 入札書は令和2年5月11日（月）正午までに上記3（1）に持参又は郵送（書留又は配達証明に限る。）すること。ただし、郵送の場合は提出期限までに必着のこと。なお、電送によるものは受け付けない。

4 その他

(1) 入札保証金

免除する。ただし、落札者が契約を締結しないときは、違約金として、落札した金額の100分の5に相当する金額を九州大学に支払わなければならない。

(2) 契約保証金

免除する。ただし、落札者が契約上の義務を履行しないときは、違約金として、契約金額の10分の1に相当する金額を九州大学に支払わなければならない。

(3) 入札の無効

本公告に示した競争参加に必要な資格がない者の提出した入札書、入札者に求められる義務を履行しなかった者の提出した入札書、その他国立大学法人九州大学契約事務取扱要領第9条第1項各号に掲げる入札書は無効とする。

(4) 契約書又は請書の作成の要否 要

(5) 落札者の決定方法

本公告に示した調査を履行できると総長が判断した入札者であって、国立大学法人九州大学契約事務取扱規程第11条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内で、最低価格をもって有効な入札を行った者を落札者とする。

(6) 代理人又は復代理人の入札

代理人又は復代理人が入札に参加する場合は、委任状を持参するものとする。その場合は、代理人名又は復代理人名をもって入札すること。

(7) 談合等の不正行為を行った受注者は、請負代金額の10分の1に相当する額を賠償金として支払うものとする。

(8) 本業務について、予定価格のもととなる業務費内訳書等から単価及び金額等を削除するなどの加工・編集を施したものを数量書（参考数量）として提供する。なお、数量書は、競争参加資格の結果通知と同時に電子メールにて交付する。

(9) その他 詳細は入札説明書による。

# 業務仕様書

業務名 九州大学（箱崎）敷地境界モニタリング井戸地下水分析調査業務

（令和2年4月）

# 調査業務仕様書

1. 業務名称 九州大学（箱崎）敷地境界モニタリング井戸地下水分析調査業務

2. 業務完了期限 令和3年3月26日（金）

3. 業務場所 福岡市東区箱崎六丁目10番1号（九州大学構内）

## 4. 業務概要

箱崎キャンパス跡地の敷地境界モニタリング井戸12カ所と構内既存井戸5カ所との合計17カ所にて、土壌汚染対策法に基づく特定有害物質（26種類）の地下水分析調査を行う。

## 5. 適用法令

- ・土壌汚染対策法
- ・土壌汚染対策法施行令
- ・土壌汚染対策法施行規則
- ・土壌汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン
- ・水質汚濁防止法
- ・産業廃棄物処理法

※全て最新版によること

## 6. 一般事項

- 本業務は、国立大学法人九州大学役務請負契約基準に基づく調査を実施する。
- 本業務内容に疑義が生じたときは、監督職員と協議し、その指示に従うこと。
- 業務内容に変更が生じたときは、監督職員の承諾を受けて変更することができる。
- 本業務において、使用するデータ及び業務により知り得た内容・成果は、他に公表もしくは使用してはならない。
- 現場作業は、原則、日曜日・祝日を除く9:00～18:00とする。なお、著しい騒音、振動等を伴う場合は、予め監督職員と協議の上、作業日程を決めること。
- 仮設物・安全対策については、必要な費用については、全て受注者の負担とする。
- 業務用電力が必要となる場合は、受注者において発電機を設置するものとする。構内分岐や引込は不可とする。
- 業務用給水が必要となる場合は、受注者において構外より持ち込むこととする。構内分岐や引込は不可とする。
- 業務用地を借用する場合は、「工事用地使用許可願」を監督職員に提出して、発注者等の承諾を得ること。
- 仮設建物等を設置する場合は、「仮設物設置許可願」を監督職員に提出して、発注者等の承諾を得ること。
- 箱崎団地内においては、構内全面禁煙とする。

## 7. 業務内容

### 7. 1 井戸の水質調査

#### (a) 水質調査地点

水質調査地点は、資料1「水質調査地点配置図」に示す17箇所の井戸とする。井戸は、停止井戸、モニタリング井戸の2種類がある。停止井戸は、過去飲用井戸として使用していたものであり、参考構造を資料2「停止井戸参考構造図」に示す。なお、ポンプ等揚水設備は撤去済みである。モニタリング井戸は水質調査用に設けた井戸であり、構造を資料3「モニタリング井戸構造図」に示す。

#### (b) 試料採取方法

試料採取方法は「土壌汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン（改訂第3版）」のAppendix「7. 地下水試料採取方法」によるものとする。地下水試料は、停止井戸については、採水器により採取すること。モニタリング井戸の試料採取方法は、コンタミネーション防止に配慮した方法とし、監督職員の承認を受けること。

なお、余剰水の処理は、下記のいずれかの方法によること。

- ・産業廃棄物として適正に処理する。この場合、産業廃棄物管理票（マニフェスト）の写しを提出すること。
- ・土壌汚染対策法に基づく地下水基準及び福岡市下水排除基準に基づくSS濃度、pH値の適合確認後、構内の下水道へ放流する。この場合、水質検査結果を提出すること。また、各種基準適合確認までの余剰水の保管場所は受注者にて用意するものとする。

試料の採取にあたっては他の関連工事業者との調整を行うこと。

#### (c) 分析項目数・分析方法

分析項目数は、土壌汚染対策法の特定有害物質の26項目とする。

なお、業務期間内に土壌汚染対策法に新たな特定有害物質が追加された場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とする。

分析方法は、「土壌汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン（改訂第3版）」のAppendix「6. 地下水に含まれる試料採取等対象物質の量の測定方法」によるものとする。

#### (d) 分析時期・回数

令和2年5月から令和3年3月末までの期間とし、頻度は3ヶ月毎、合計4回の水質調査を行うものとする。但し、農学部No.4井戸については、業務期間中2回の水質調査を行うものとする。地下水分析調査計画工程表を表1に示す。なお、採取日は監督職員と協議の上、決定すること。

表1 地下水分析調査計画工程表

年度	令和2年度												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
水質調査		採取 ※			採取 ※			採取				採取	

※農学部 No. 4 井戸の分析調査を示す

(e) 速報値の報告

水質検査結果については、採取日から14日（休日・祝日を除く）以内かつ採取月の20日までに速報値の報告を行うこと。但し、採水月の上旬に休日等が重なり、採水が困難な場合は監督職員と協議の上、速報値の報告日を決定するものとする。

8. 報告書等の作成

○調査報告書 A4版 3部（正1部、副2部）

なお、調査報告書の内容は下記のとおりとする。

本編

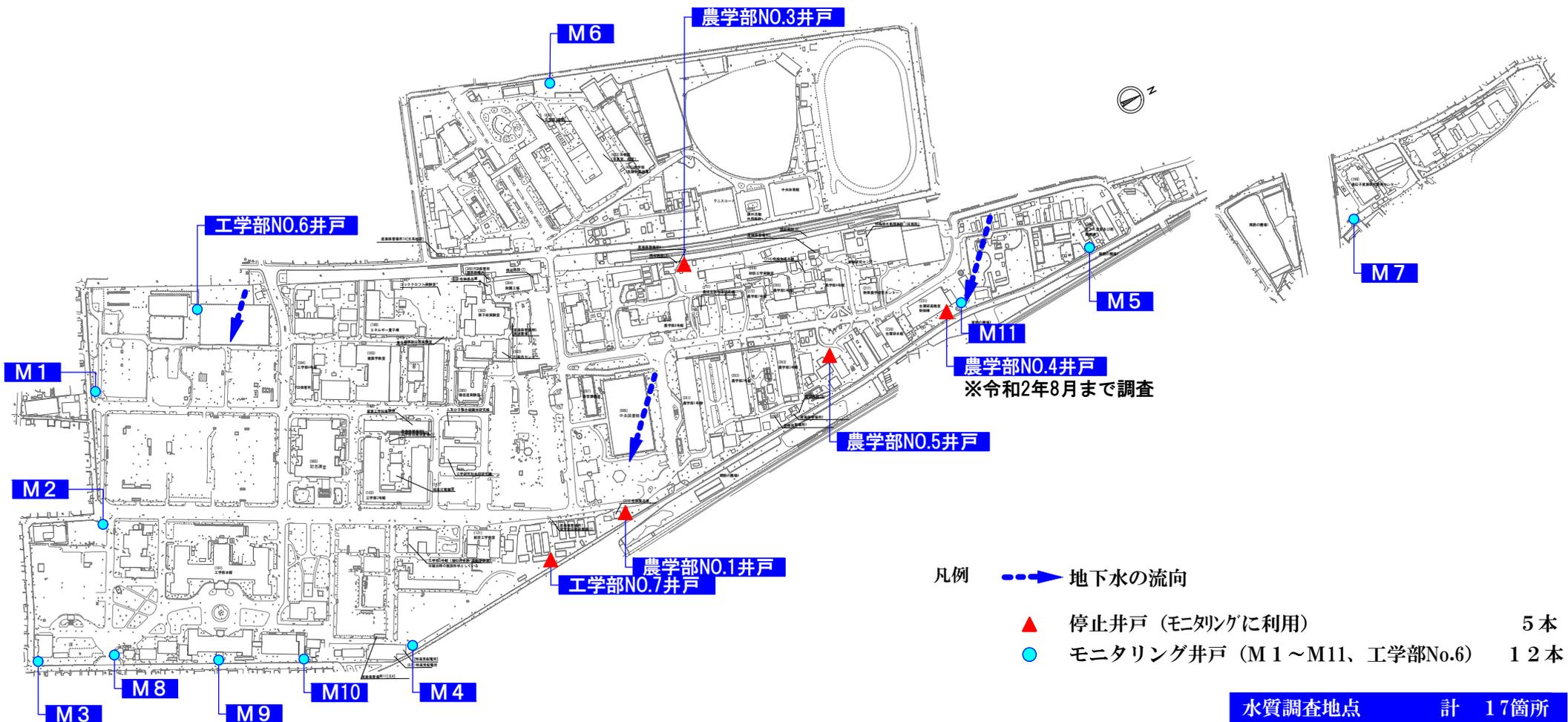
- ・調査・分析概要
- ・調査・分析方法
- ・調査・分析結果

巻末資料

- ・地下水採取データシート  
※資料4「地下水採取データシート参考例」に参考例を示す。
- ・濃度計量証明書
- ・作業記録写真

その他監督職員が指示するもの

# 資料 1 水質調査地点配置図



0 50 100 200 m

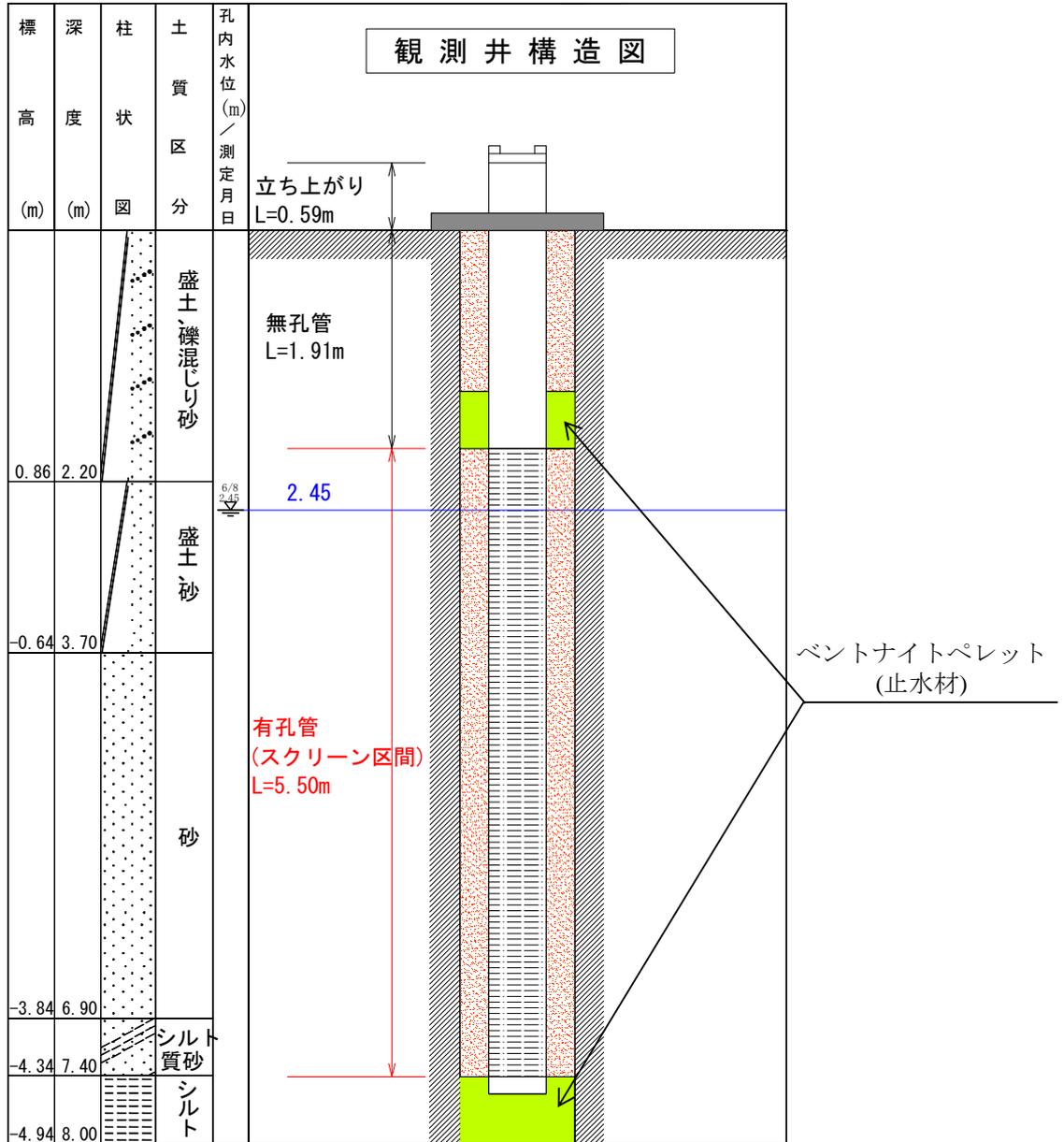
水質調査地点 計 17箇所

## 資料2 停止井戸参考構造図

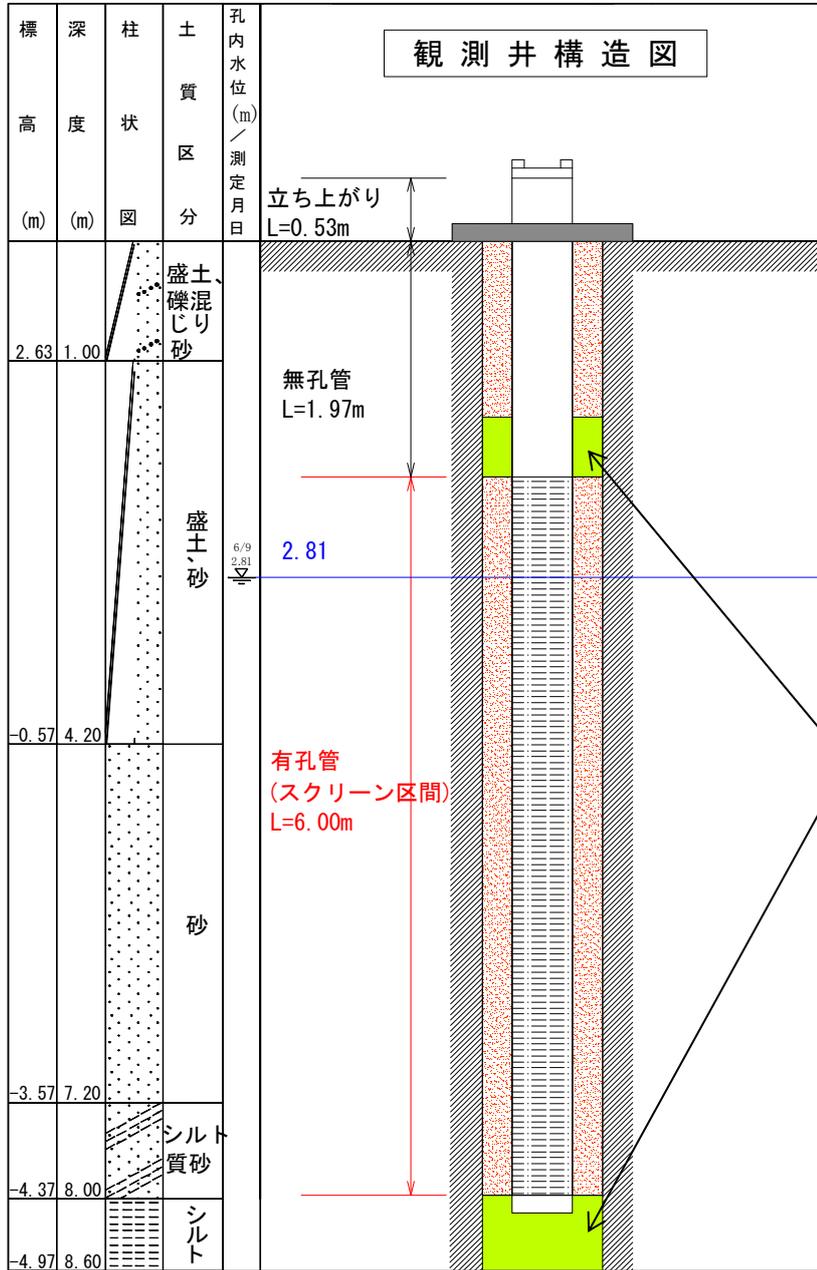


### 資料3 モニタリング井戸構造図

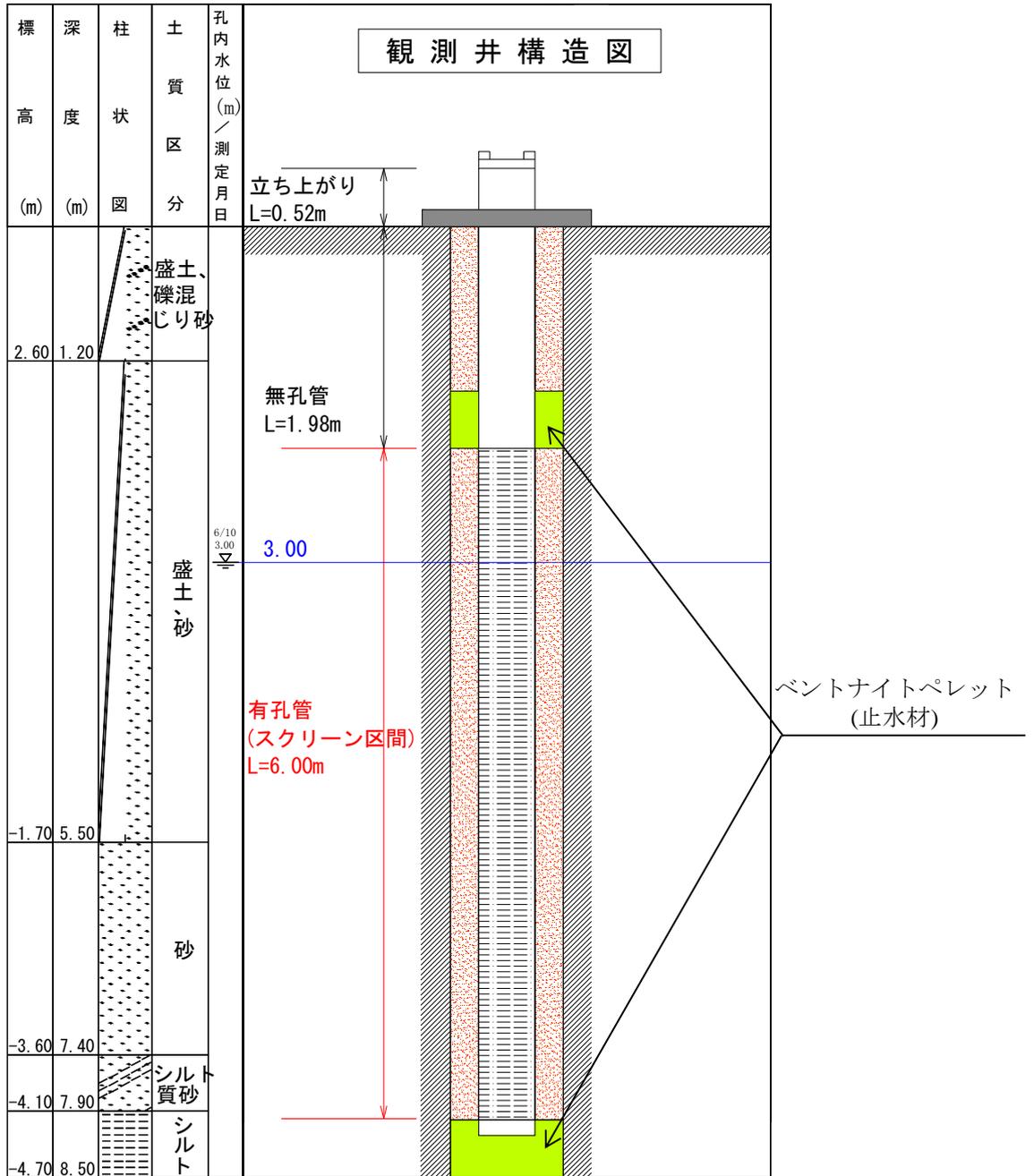
【M1地点】



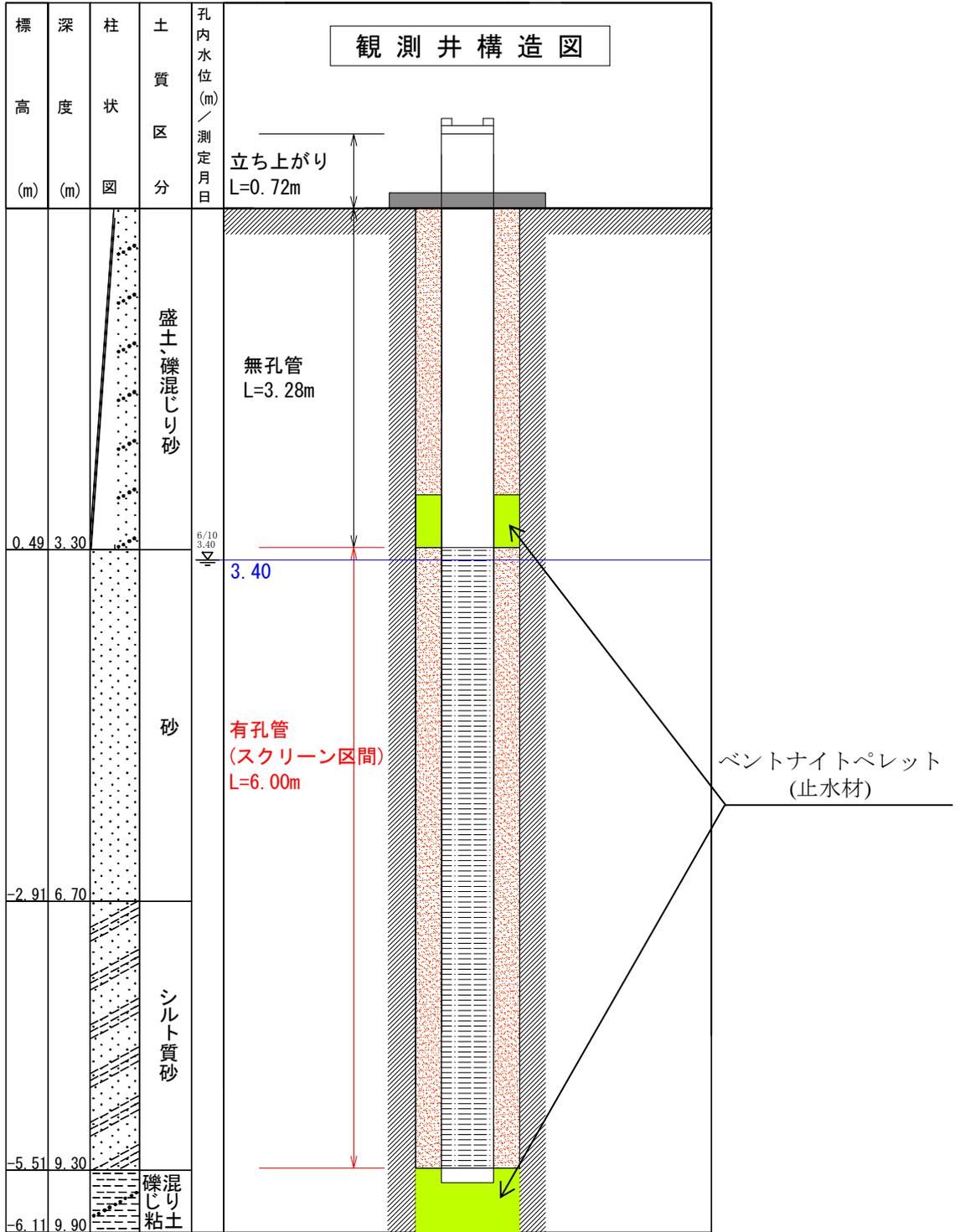
【M2地点】



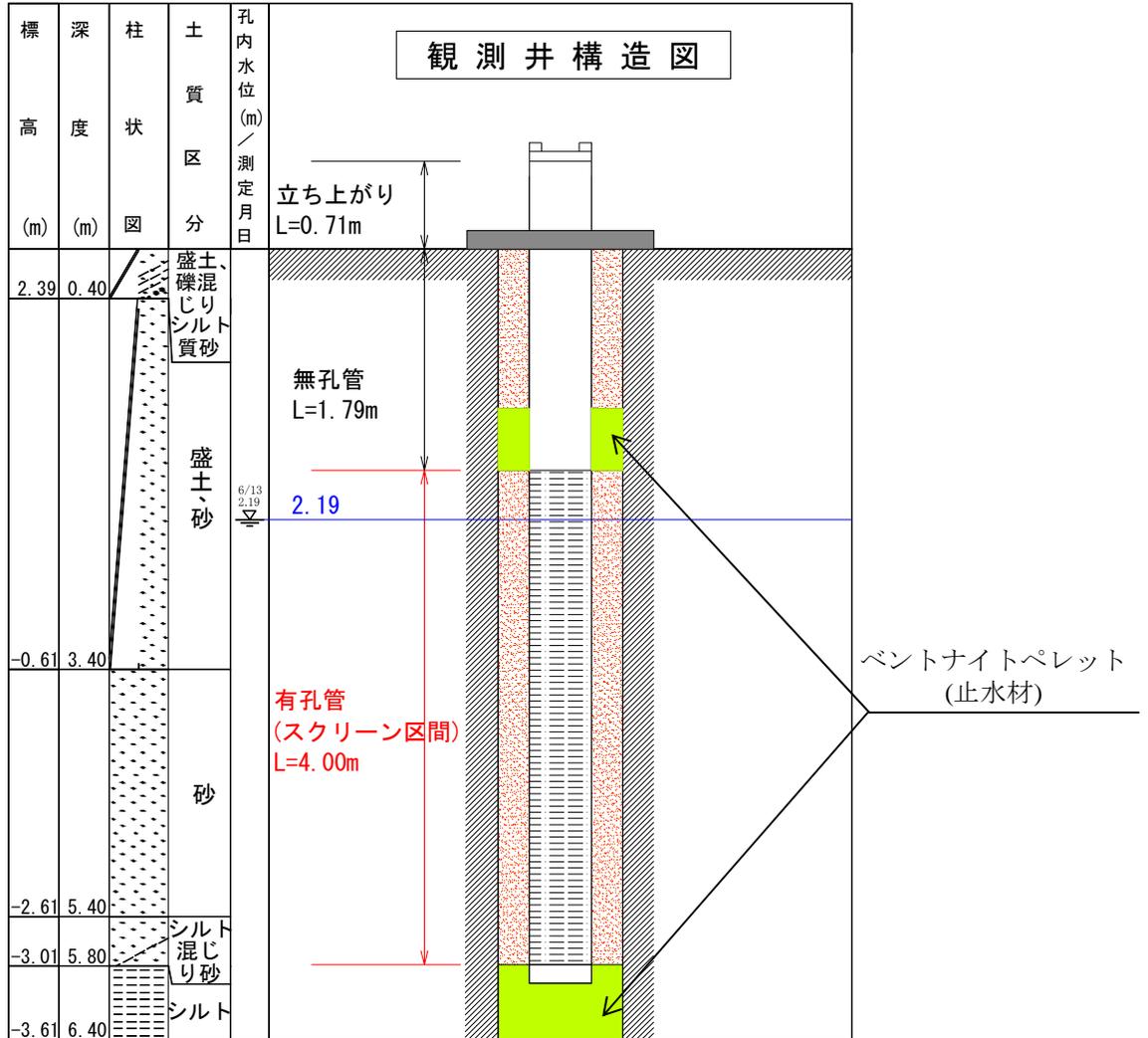
【M3地点】



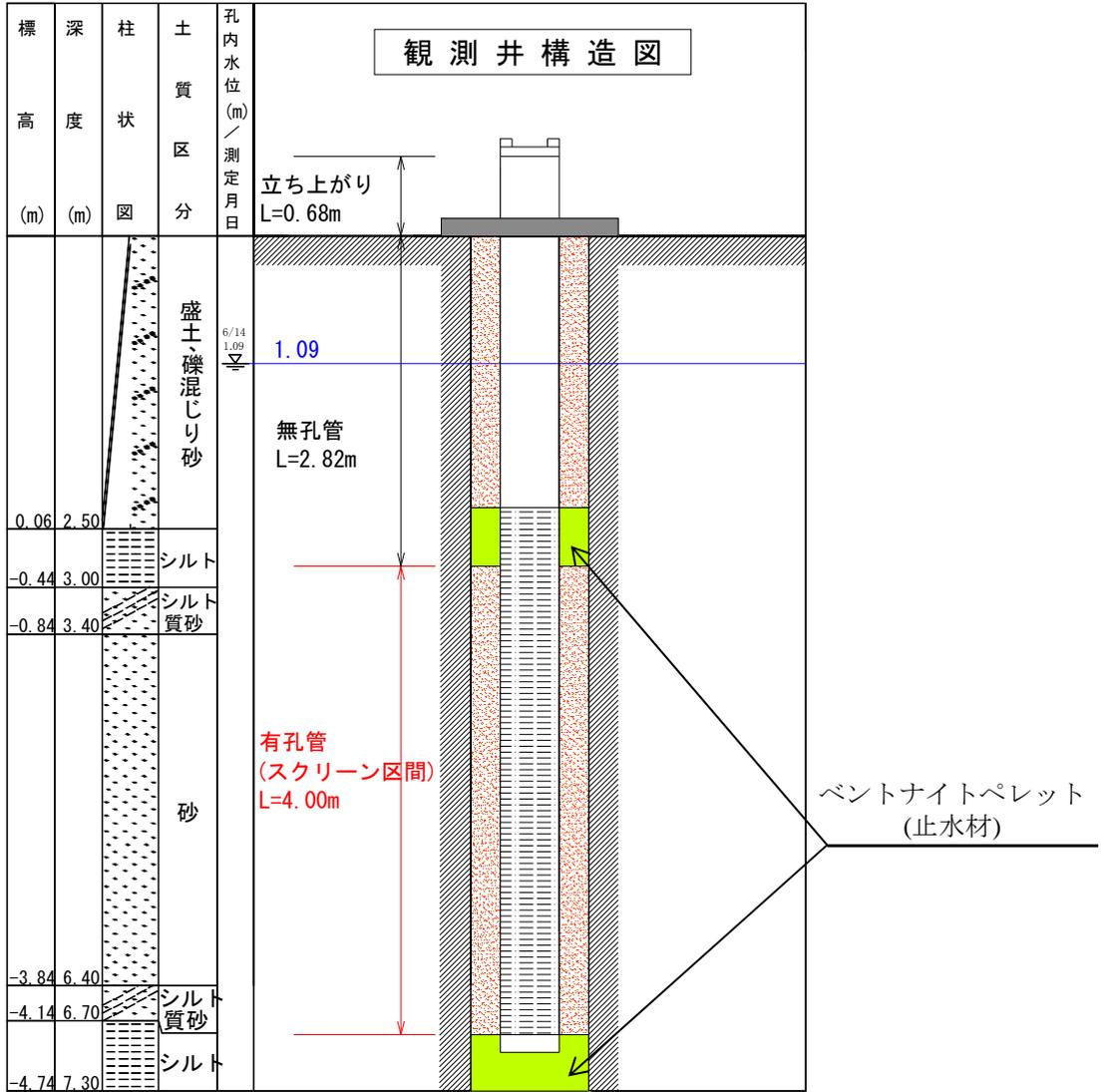
【M4地点】



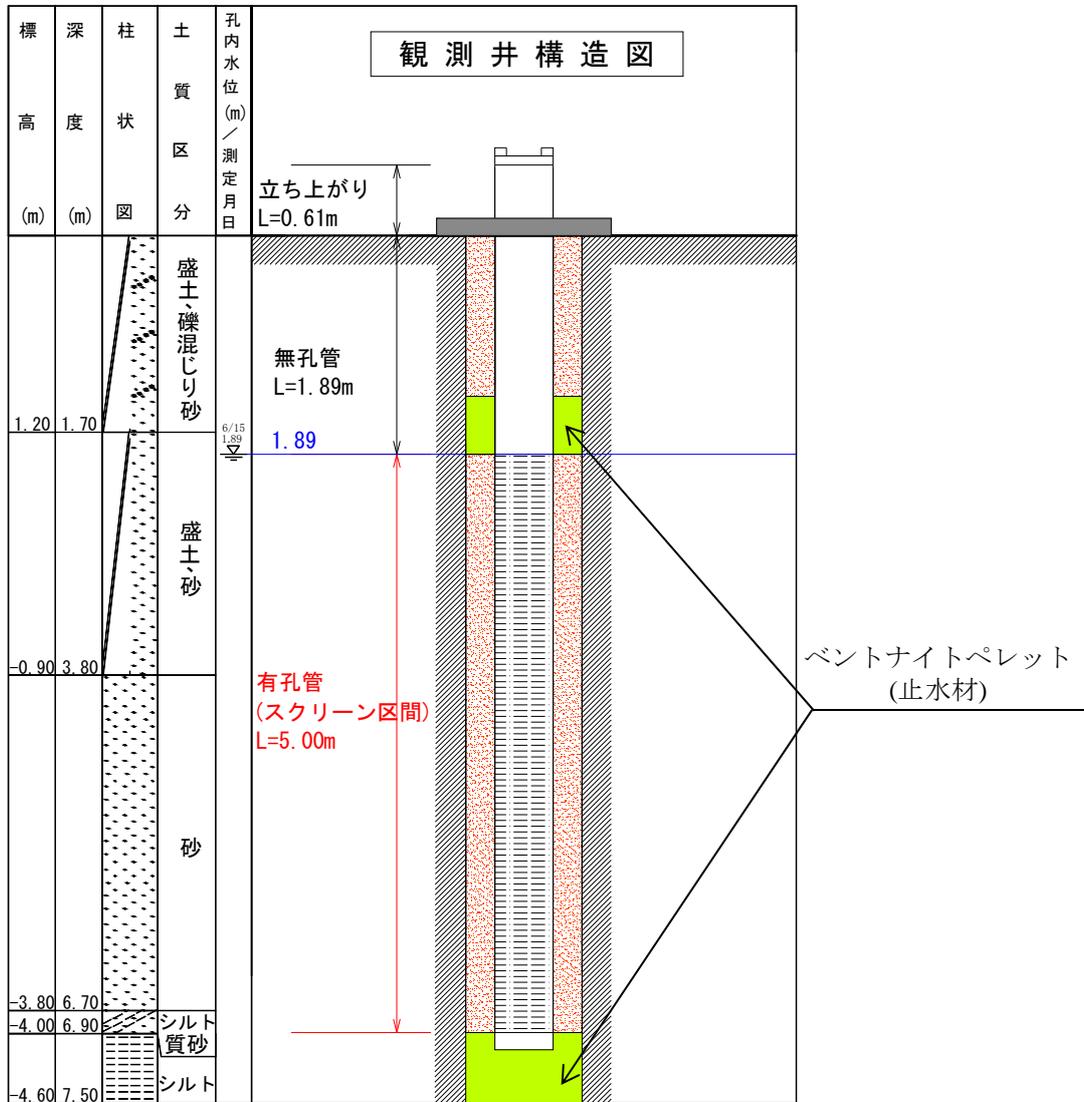
【M5地点】



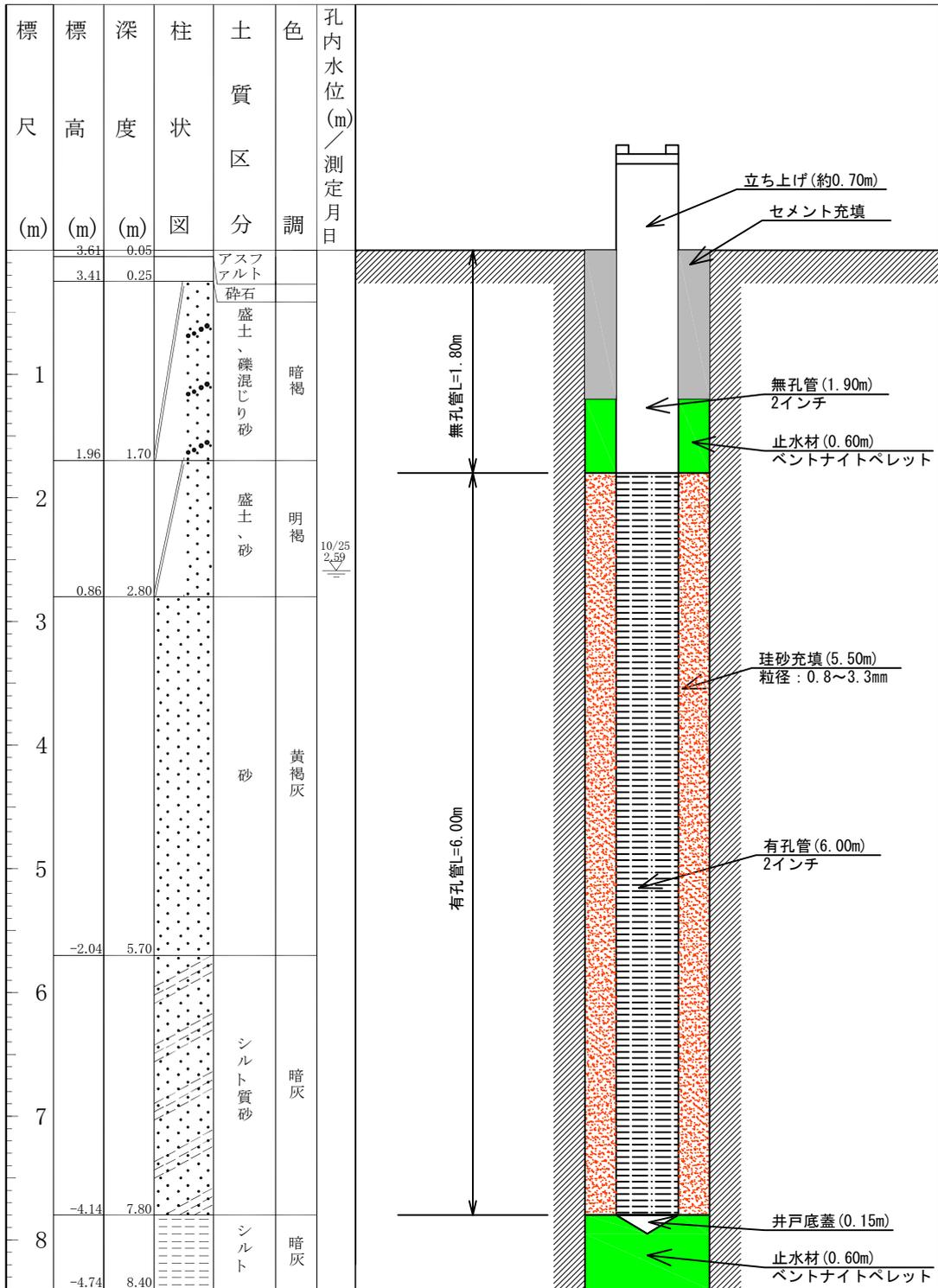
【M6地点】



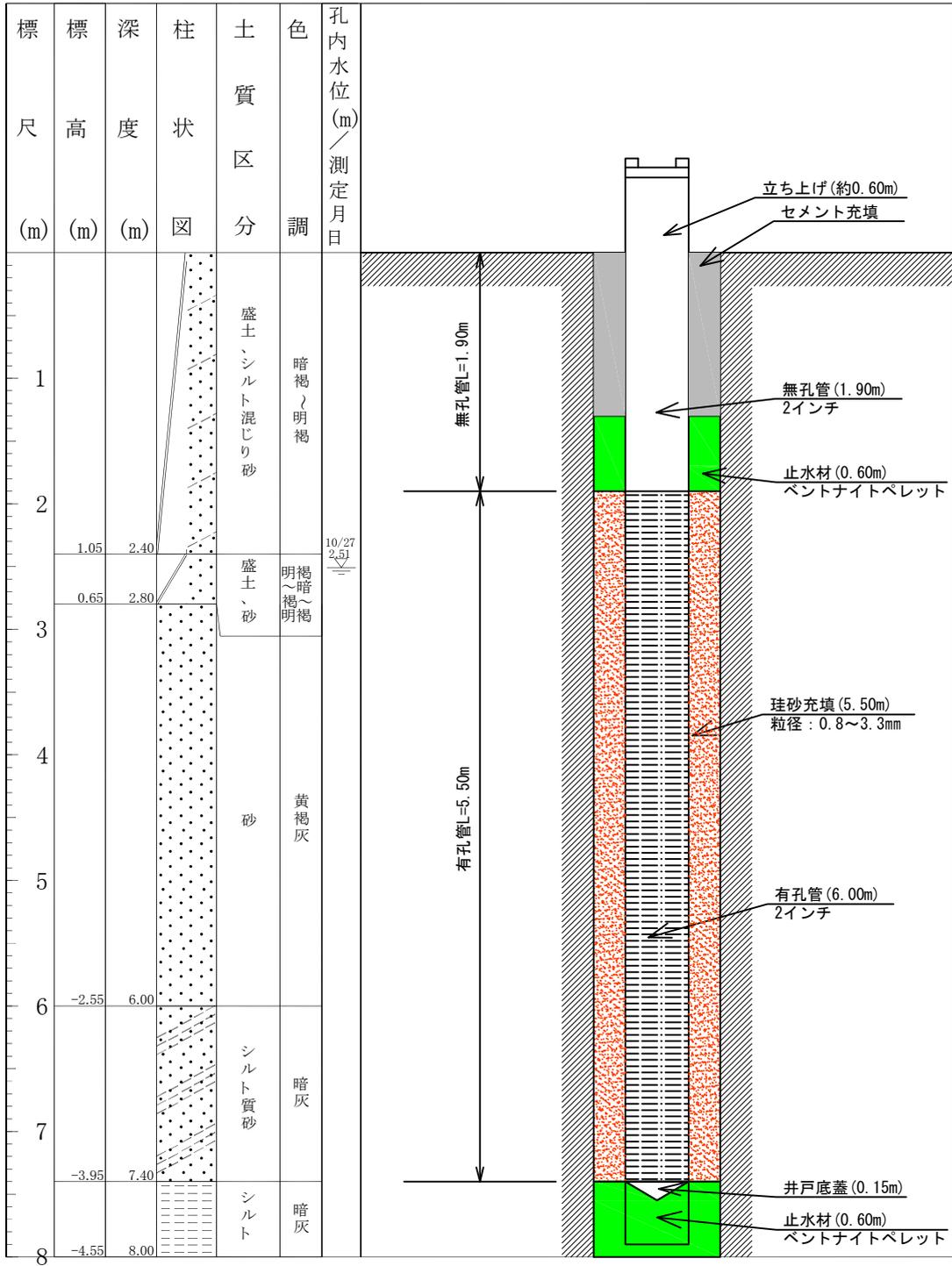
【M7地点】



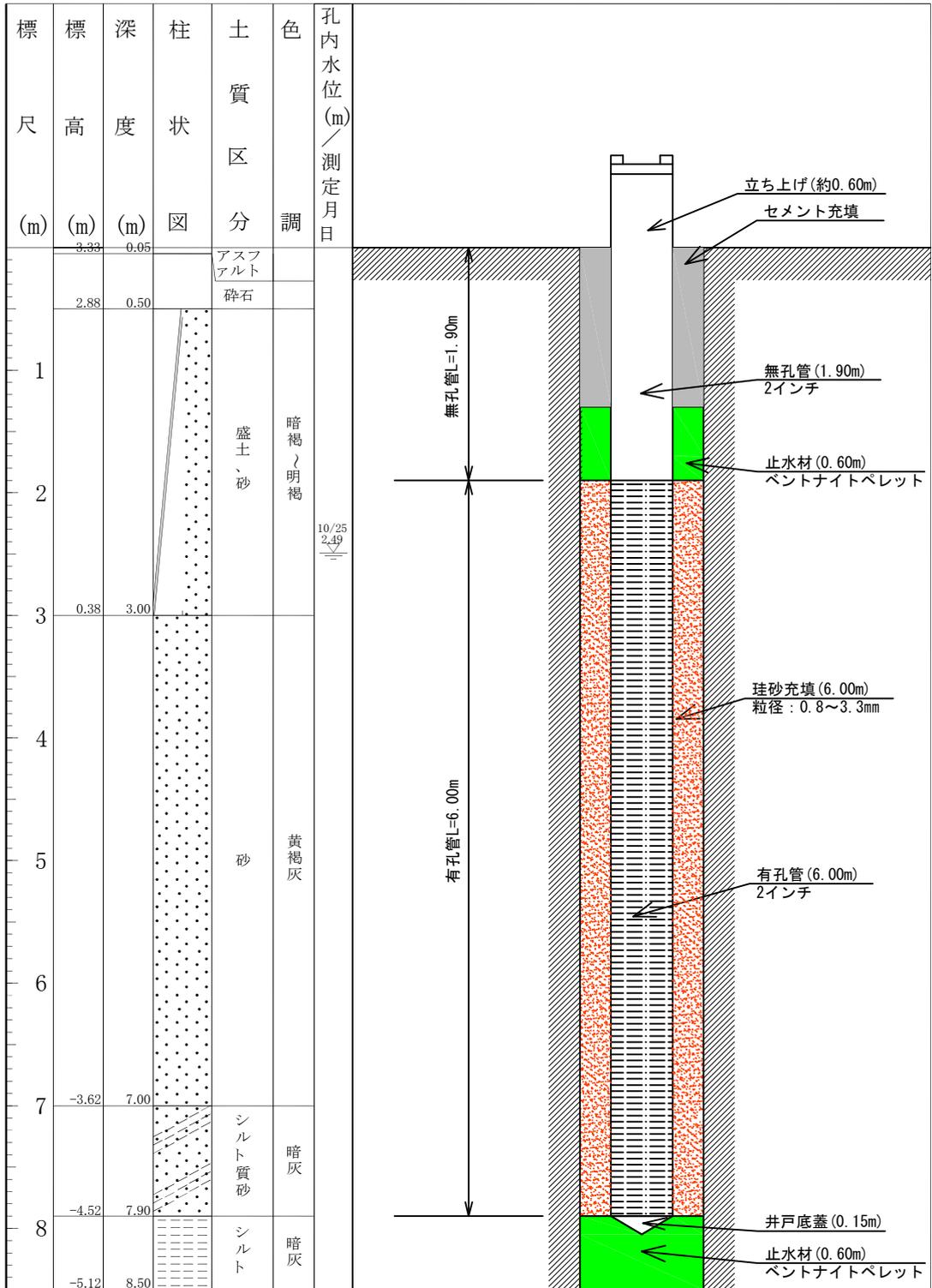
# M8



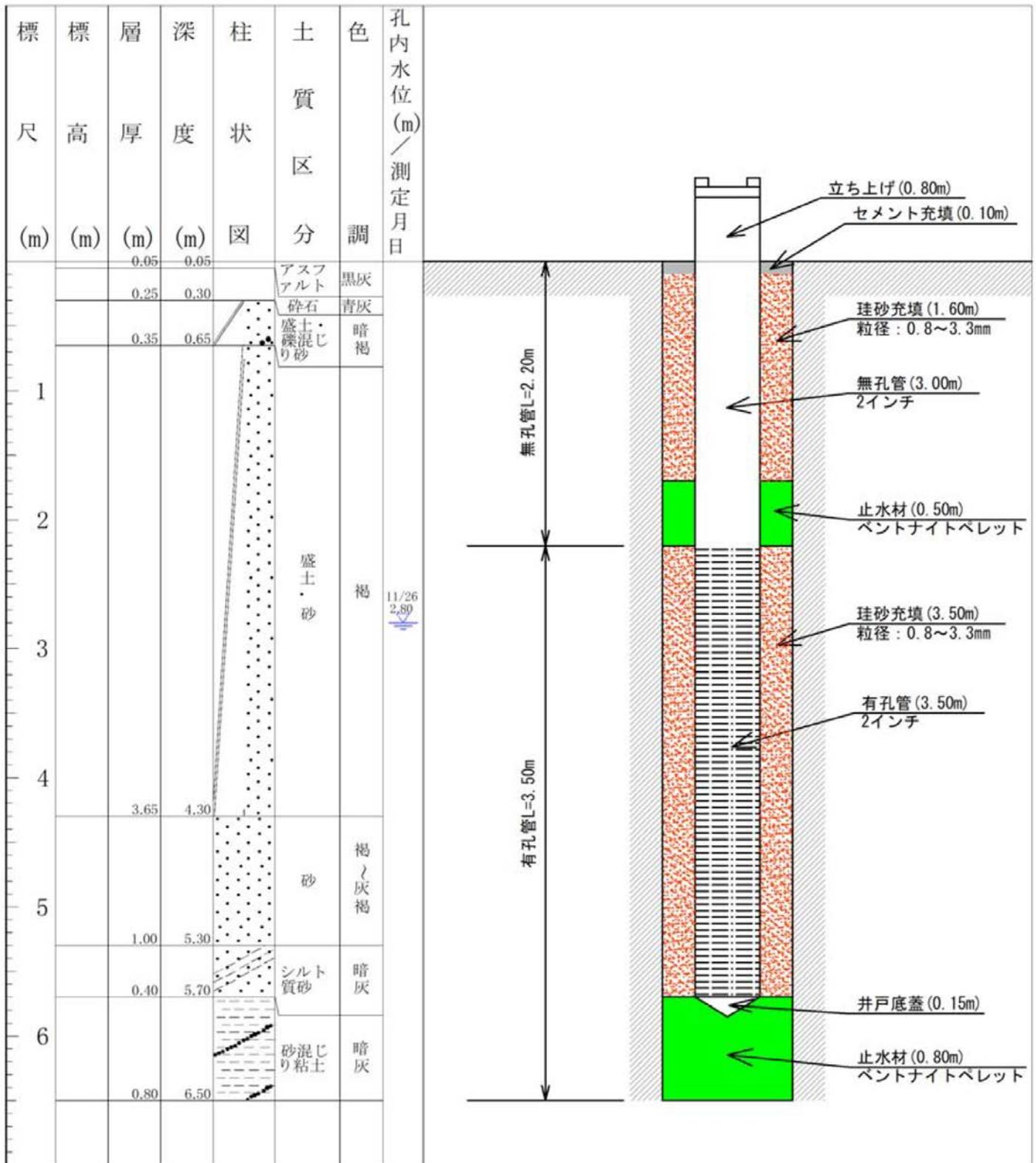
# M9



# M10



M11



## 資料4 . 地下水採取データシート参考例

	地下水採取データシート	
--	-------------	--

業務名：九州大学（箱崎）敷地境界モニタリング井戸の地下水分析調査

測定者： \_\_\_\_\_

*地下水の状態（水位測定は現地盤面から水面まで：m）*

地点	日付	水位 (m)	水位測定時刻	混入異物	濁り	色	油膜	異臭

*PVCパイプ仕様等*

*必要パーージ量*

サイズ	外径	内径	半径 (m)	面積 (m <sup>2</sup> )	深度 (m)	体積 (m <sup>3</sup> )	3倍量 (L)	実際のパーージ量 (L)

*現場測定結果*

測定時刻	パーージ量 (L)		測定項目		
			水温 (°C)	PH (-)	電機伝導度 (ms/m)

【参考数量表】

九州大学（箱崎）敷地境界モニタリング井戸地下水分析調査業務

- (1) 主要業務の参考を示すものである
- (2) 詳細については、仕様書により確認すること
- (3) 本表は、積算（見積）の参考として示すものであり、契約図書（仕様書）の一部としては取り扱わない

名 称	摘 要	数 量	単 位
I 敷地境界モニタリング井戸地下水分析調査業務			
1. 直接費（4回分）			
現地踏査		1	式
（地下水試料採取）			
停止井戸	採水、試料の保管、余剰水の処理含む	18	箇所
モニタリング井戸	採水前のパージ、採水、試料の保管、余剰水の処理含む	48	箇所
（地下水試料分析）			
四塩化炭素	環境計量証明事業者による分析	66	検体
1,2-ジクロロエタン		66	検体
1,1-ジクロロエチレン		66	検体
1,2-ジクロロエチレン		66	検体
1,3-ジクロロプロペン		66	検体
ジクロロメタン		66	検体
テトラクロロエチレン		66	検体
1,1,1-トリクロロエタン		66	検体
1,1,2-トリクロロエタン		66	検体
トリクロロエチレン		66	検体
ベンゼン		66	検体
クロロエチレン		66	検体
カドミウム及びその化合物		66	検体
六価クロム化合物		66	検体
シアン化合物		66	検体

